

# 2023(令和5)年度 第43回東京都女子サッカーリーグ・高校の部 実施要項(最終案)

本リーグは、(公財)日本サッカー協会の憲章に基づき、(公財)東京都サッカー協会の統括と東京都高等学校体育連盟サッカー専門部女子部の協力を受けるものである。

## 1. 参加資格

- (1) 2023年度に(公財)日本サッカー協会に加盟登録した単独の都内高等学校チームであること。  
参加選手は、参加する高等学校の生徒であること。それに加え、他チームに二重登録されていないこと。
- (2) 各チームは必ず教職員(顧問)が引率すること。教職員でないスタッフのみの引率は認めない。  
但し、学校長の委嘱状があればよい。(公印が押印されていること。)
- (3) 各チームは必ず審判(有資格者)を帯同すること。
- (4) 中高一貫教育校に関しては、中学生の出場も認める。

## 2. 参加申し込み 東京都女子サッカー連盟に指定された方法で期日までに申し込む。

## 3. 連盟事業費 期日までに¥10,000を納入する。締め切り 5月1日(月)

【振込先】 『

』

※振込みは個人名ではなく、登録チーム名での振込みをお願いします。

## 4. リーグ運営費 高校リーグ運営費として、¥30,000を本リーグ会計に納入する。締め切り 5月8日(月)

【振込先】 『

』

※振込みは個人名ではなく、登録チーム名での振込みをお願いします。

## 5. 参加校およびリーグ編成

1部 (10チーム)	2部 (10チーム)	3部 (10チーム 16校)				
狛江	日大三	単独チーム参加		合同チーム	合同チーム	合同チーム
若葉総合	芦花	恵泉	国際	千早 東京実業	佼成学園女子 共立女子第二 岩倉	神田女学園 中村 大泉 第四商業
国分寺	青梅総合	江戸川女子	赤羽北桜			
第五商業	王子総合	八王子実践	品川エトワール			
吉祥女子	東京成徳	清瀬				
成城学園	広尾学園	※3部は合同チーム参加が認められる。				
世田谷総合	八王子学園					
大妻多摩	戸山					
帝京	ICU					
駒沢女子	渋谷教育学園渋谷					

## 6. 競技方法

- (1) 総当たり方式のリーグ戦とする。
- (2) 試合時間は70分(インターバル10分)延長なしとする。
- (3) 対戦チーム同士の相互審判を認める。(資格所持者のみ)

## 7. 競技規則

- (1) 日本サッカー協会「競技規則 2022/2023」による。(6月の改定後の導入時期は後日役員で決定する)
- (2) 当日の観客動員については各学校会場の指示に従うこととする。有観客での開催となる場合はライブ配信を禁止とする。
- (3) 各試合の選手数は最大で26名とし、交代要員を5人まで主審の許可を得て交代することができる。
- (4) チームスタッフ(引率者、コーチ、マネージャー、撮影スタッフ等)の動員はその人数を問わない。  
ただしベンチ入りできるスタッフは5名までとする。動員に制限のある会場については、会場の指示に従うこと。
- (5) 原則として試合開始60分前迄に選手証(KICK OFFより紙に印刷した写真付きのもの)とメンバー表3枚を本部に提出する。
- (6) 本大会において退場を命じられた選手(または警告を2回受けたもの)は次の1試合に出場できず、その後の処置については、東京都女子サッカー連盟の規律委員会で決定する。この決定は、東京都サッカー協会に提出される。
- (7) 3部リーグに限り、合同チームについても出場を可とする。別紙【合同チームガイドライン】を参照。

## 8. 順位の設定 以下の①～⑥の順で決定する。

- ①勝ち点の合計（勝ち：3 引き分け：1 負け：0）      ②得失点差      ③総得点数  
④当該チーム同士の対戦成績      ⑤反則ポイント      ⑥抽選

### 【⑤反則ポイントについて】

- (a) イエローカード1点      (b) イエローカード2枚3点      (c) レッドカード4点  
(d) イエローカードに続く直接のレッドカード5点

## 9. 試合日程・会場

- 各リーグ担当者およびチーム代表者が協議の上調整する。各リーグ担当に予定表を提出し、それを基に日程を作成するので、チーム代表者は日程作成に協力すること。12月末までの終了を目標とする。
- 試合は原則的にはグラウンド提供できる学校を会場として実施するが、公営施設を会場とする場合もある。

## 10. 昇格・降格および入れ替え戦について

順位	1部	2部	3部
1位		1部に昇格	2部に昇格
2位		1部に昇格	2部に昇格
3位			
4～7位			
8位			
9位	2部に降格	3部に降格	
10位	2部に降格	3部に降格	

※2部・3部リーグ上位2チーム（合同チームを除く）が自動昇格し、1部・2部下位2チームが自動降格する。また、U-18リーグ参加による離脱チームが出た場合は、翌年度リーグ編成の際に上位チームより繰り上げる。3部リーグにおいては、翌年度新規参加チーム・再参加チーム等が増加した場合、下位チームより順に4部リーグになる可能性がある。

※本年度は、入れ替え戦は行わない。

## 11. 表彰

【チーム表彰】東京都女子サッカー連盟より 団体表彰状が贈られる。（各リーグ1～3位）

【個人表彰】東京都女子サッカー連盟より個人表彰状が贈られる。

最優秀選手：各リーグ1名（優勝チーム） 得点王：各リーグ1名 優秀選手：各チーム1名ずつ

※合同チームでも優秀選手はチームで1名ずつ。

## 12. ユニフォーム

- ◆ ユニフォーム（シャツ・ショート・ソックス）は、正の他に副として正と異なる色のユニフォームを携帯する。ゴールキーパーはフィールドプレイヤーと異なる色を着用すること。また、いずれも審判と同色（黒）または類似色（黒・紺系）の上衣を着用することはできない。

※アンダーシャツは各袖の主たる色と同じ色で1色または、シャツの各袖とまったく同じ色の柄にする。

アンダーショートおよびタイツは、ショートの主たる色、またはショートの裾の部分と同じ色でなければならない。  
同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。

- ◆ ユニフォーム規定に関する緩和措置は導入しない。
- ◆ 区別のしづらい縞等のユニフォームは30cm四方の台地に背番号を10cm四方の台地に胸番号をつけること。
- ◆ 年度途中でユニフォームの色を変える場合にはリーグ統括（大森）に申し出ること。

## 13. 規定の変更 諸規定は必要に応じて、リーグ運営委員会で協議のうえ変更する。

## 14. その他

- 試合中およびそれに関する事故への対応は各チームの責任において行う。スポーツ振興センター「災害給付金」、スポーツ傷害保険に加入することが望ましい。
- 試合当日は審判員（有資格者）を帯同すること。審判は審判服（色調は黒または濃紺）を着用すること。
- 落雷や熱中症に関わる対応については「要項別紙」を参照（要項下記に添付）
  - ・落雷の予兆がある場合は速やかに試合を中断し、選手達を安全な場所に避難させること。
  - ・気温の上昇が見込まれる場合は両チーム顧問・審判団で協議の上で、前後半に1回ずつの1分間の飲水タイムや3分間のクーリングブレイクを入れること。

(4) 下記の場合は不戦敗となる。(相手チームが5-0での勝利)

①キックオフ時間を10分過ぎてもグラウンドに選手がそろわない時(7名未満)

②引率者がいないとき

※ただし、試合実施の前日までにリーグ担当者に試合実施が困難であると連絡が入り、その理由がやむを得ないとリーグ運営委員会で認められた場合は、日程の延期が可能な状況であれば延期が認められる。

③その他、天候以外の要素で延期を申し出て、その試合が1月末以降に組めない時は最初に申し出をしたチームが不戦敗となる。

(5) 重大事故の報告・レッドカードによる退場について

救急車の出動を要請した場合: その日のうちにリーグ統括(大森)に報告。

レッドカードでの退場: その日のうちにリーグ統括(大森)に報告。

(6) 試合球について

1・2部: モルテン 3部: ミカサ 試合当日に各チーム持参すること。

※試合球は油性ペンで校名を記入して下さい。紛失した場合は同じ種類のボールを各校の実費負担で購入してもらいます。

(7) Bチームの出場選手について

- ・Bチームについては、一般リーグ・U-18 関東リーグ・PRINCESS TOKYO U-18 の登録選手は高校リーグの出場不可。
- ・Aチーム引率者とは別にBチーム引率者を準備すること。
- ・Bチームが参加しているチームは、会場提供を積極的に行うなどリーグ運営に協力すること。
- ・次年度以降、新規のBチームを参加させる場合の条件は「前年度、前々年度から継続して40名以上の登録済選手が確保できていること」とする。

(8) コロナウイルスのまん延等によりリーグが打ち切りになった場合には、昇降格を行わない場合もある。

→全試合を消化しているリーグがあればそのリーグ同士でのみ原則として昇降格を行う。

打ち切りになった場合の昇降格については以下の①～⑥の順に決定する。

①勝ち点率・勝率の算出方法は勝利試合数÷消化試合数(77%以上の消化が前提)

②得失点差 ③総得点数 ④当該チーム同士の対戦成績 ⑤反則ポイント(上記8参照) ⑥抽選

※昇降格・順位付けは、次年度(2024年度)のリーグ編成に際して重要な指標になる。ただし、U-18リーグへ異動するチームが出てくる可能性があることを踏まえると、昇降格が次年度のリーグ編成に関係しなくなる場合もあり得る。

全試合が消化していなくても、昇降格に係る順位(1,2部リーグの9,10位と2,3部リーグの1,2位)のチームの試合が概ね消化でき、他のチームの試合の消化状況を踏まえて順位が確定するような場合、上記①～⑥の順位確定方法は参考となり、昇降格の実施をリーグ役員の協議により決定する場合もある。

(9) 感染症の状況の変化により、生徒の安全が確保できない場合や日程調整・会場確保等が困難な場合においては、大会を実施できない場合もある。

(10) 要項に記載されていない内容で不測の事態が発生した場合にはリーグ役員で協議の上で対応を決定する。

#### 【皆様へのお願い】

- ・試合後に両チームの監督は記録用紙の確認および署名をお願いします。その際スコア・得点者に誤りがないかきちんと確認をし、署名後の内容変更が無いようにして下さい。記録用紙記載の内容を基に順位表・得点ランキングを作成します。記録用紙に署名がなされた後は、いかなる理由においても記録内容の変更は認められません。
- ・会場校の先生は、原則的に試合当日(無理な場合は翌日でも可)にスコア、得点者、警告の有無などをリーグ担当に報告をお願いします。記録用紙および審判報告書がリーグ担当の手元に渡るようにして下さい。直接手渡し、郵送など渡す手段はリーグ担当者とは相談して下さい。
- ・会場校の皆様には負担をかけることのないよう、準備・後片付けなどは来校者で協力して行うようお願いいたします。また、試合・審判が終わったあとは速やかに帰るように、ご協力をお願いします。
- ・生徒に副審をさせる際にも顧問の先生(無理な場合はコーチ等引率者でも可)の引率をお願いします。
- ・部員不足で試合成立が危ぶまれる場合などは、速やかに各部担当リーグ役員及びリーグ統括(大森)に連絡して下さい。
- ・日程作成に際して日程調査表を提出してもらっていますが、もしも提出内容に変更が生じた場合には速やかにリーグ役員に連絡して下さい。(遅くとも1ヶ月前まで)
- ・4審は原則として配置をお願いします。生徒に担当させることが多いですが、主審を担当される方は選手交代・アディショナルタイムの表示などを事前に打ち合わせて下さい。また、ベンチにいるスタッフのルール違反・マナー違反が無いようにして下さい。ご理解ご協力をお願いします。

## リーグ役員

役職	氏名	所属
統括・高校副部会長	大森 健二	品川エトワール女子高等学校
副統括・2部	安川 智	国際基督教大学高等学校
1部	信太 誠	大妻多摩高等学校
3部	武藤 謙史	中央国際高等学校 東京校
審判	坂田 洋介	共立女子第二高等学校
高校部会長	原山 和也	東京都立王子総合高等学校
経理	小尾 敏明	東京都立新宿高等学校
技術	横田 毬華	東京都立第五商業高等学校
登録	後藤 和也	東京都立八王子拓真高等学校

## 高校リーグ実施要項 別紙

東京都高体連女子サッカー専門部

### 荒天・落雷についての対応

- ①会場責任者および主審の判断で試合開始時刻の遅延、試合中の中断を決定する。
- ②試合開始時刻から60分（目安）、又は中断から30分（目安）以上経過しても、回復が見込めないか安全が確認できない場合は、試合を中止する。

中止後の流れ…前半が終了していればその試合は成立させ、残りの試合時間の分の延期はしない。

前半が終了していない場合は再試合とする。再試合となった場合は残り試合時間を行う。再開後の規定は会場、メンバーが違ってやむを得ない。交代枠も消費しない。やむを得ない場合はリーグ役員と当該チームで相談し、決定する。

中断後に状況が回復し残り試合が可能と判断した場合、原則は中断した試合を優先的に進める。状況により会場責任者、審判団、該当チームで優先する試合を決定する。

- ③主審は、中断時の状況を「審判報告書（重要事項）」に記録する。
- ④中止となった試合以降の当該チーム、審判団等へ順延の連絡をする。
- ⑤リーグ担当およびリーグ統括へ報告する。

### 熱中症対策について

- ①原則、JFAの熱中症ガイドラインに沿って試合を行う。
- ②WBGT=31℃を目安とし、会場責任者、審判団、該当チームで試合の実施、中止、遅延の判断をする。
- ③ガイドラインに沿って、飲水、クーリングブレイクを設定する。（クーリングブレイクの時間を延ばす等の措置も可能とする）

### 会場責任者について

会場校は教職員及びチームスタッフ等の会場責任者を配置すること。